



宇美町中学校「土曜寺子屋」



宇美町教育委員会が主催し開講している「土曜寺子屋」は今年で4年目を迎えました。本年度は、会場を学校から地域の施設へと移し、地域のご協力を得ながら、新しい取り組みを試みています。会場は中央公民館・まなびやうみ・原田下公民館の3カ所で、1年生から3年生までの希望者が年間10回学習会を行っています。ここでは、9～12時まで、国語、数学、英語のプリントを使った個別学習をしています。本年度も大学生などのたくさんの学習サポーターの方にご支援いただき、自学自習に取り組んでいます。今後も、コミュニティ・スクールがめざす「地域で子ども育てる」取組を進めていきたいと思ひます。

学習サポーターのみなさんとがんばってます！

本年度は、28名（町内13名・町外15名）の学習サポーターさんのご協力をいただいています。高校生や大学生、社会人の方との指導を受けながら学習に取り組んでいます。



校長先生より、励ましの言葉をいただきました。

苦手なところや分からないところと一緒に学習します。

各学校の先生も、がんばる子ども達の応援に来てくれています。



土曜寺子屋で頑張りたいこと



（中学校1年生）

学力があがるように、あきらめずいっしょうけんめいがんばる。分からないところが1つでも少なくなるように、考えながら問題を解いていく。学習では、まじめに取り組む。

（中学校2年生）

ぼくは、英語と数学が苦手です。だから、しっかりがんばって、苦手意識をなくしていきたいと思ひます。また、分からないところが、できるようになるまでねばり強くやりぬきたいと思ひます。また、寺子屋に休まずに通うことが目標です。

（中学校3年生）

ぼくは、英語がとても苦手です。そこで、英語をとにかくがんばりたいです。また、夏休みの宿題などが、自力で解けるようにがんばって寺子屋に行きたいと思ひます。

編集後記

宇美町のコミュニティ・スクールが始まって、4年目となります。それぞれの学校のコミュニティ・スクールが定着し、それぞれに成果を上げてきていることをうれしく思ひます。

コミュニティ・スクール通信「3つの輪」も本号で第10号となりました。今後も、各学校でのコミュニティ・スクールの取り組みをたくさんの方に知っていただけるよう、努めていきたいと思ひます。

宇美町教育委員会学校教育課

宇美町宇美5丁目1番1号

電話 934-2245

FAX 933-9211

E-mail: gakkou@town.umi.lg.jp

コミュニティ・スクール (=CS) 通信@UMI

3つの輪

平成27年10月

第10号

宇美町教育委員会



全国CSニュース

10年間で見たコミュニティ・スクールの成果

地域とともにある学校づくりの有力なツールとして、発足したコミュニティ・スクールは、制度創設から今年で10年が経過しました。

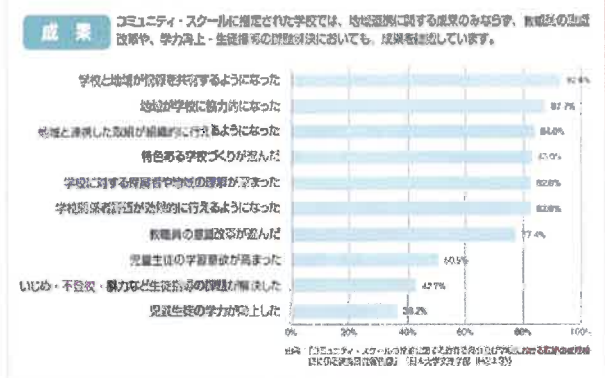
コミュニティ・スクールの指定状況も昨年度より470校が指定を受け、現在、2,389校になりました。

この10年間でコミュニティ・スクールの様々な成果が各地区で紹介されています。右の表は、その成果を表したものです。

その中でも、①地域が学校に協力的になった ②特色ある学校づくりが進んだ など、今の教育現場での課題解決に成果を出しています。

コミュニティ・スクールの成果が確実に見え、その取組も広がってきています。

コミュニティ・スクールの成果は？



（引用資料：文部科学省コミュニティ・スクール2015）

全国コミュニティ・スクール研究大会in上越



平成27年7月31日（金）に、新潟県上越市の上越文化会館において、全国コミュニティ・スクール研究大会が行われました。その中では、コミュニティ・スクールでの成果やその魅力についての発表、今後目指す基本的方向性について提案が行われました。今回は、「学校を核とした地域づくりの推進」についての4つの視点を紹介します。

～人づくりと地域づくりの好循環を生み出すために～

- （1）学校が「子どもの学びの場」にとどまらず、「大人の学びの場」でもあり「地域づくりの核」にもなる。学校を核として、地域の人々が集い、つながり、活動する中で互いに自立し、助け合い、励まし合い、よりよく成長していくための地域コミュニティとして活性化していくことが期待される。
- （2）地方創生の視点からも、学校を核として、地域に愛着と誇りを持ち、志をもって地域を担う人材を育てるとともに、子どもとの関わりの中で、大人の学びのコミュニティを創り、地域づくりを果たしていくことが期待される。
- （3）コミュニティ・スクールを中核に据え、地域とともにある学校づくりを進めるにあたっては、学校を核とした協働の取組を通じて、地域の人々のつながりを深め、コミュニティの形成・活性化を図ることが重要である。
- （4）学校と地域が膝を合わせて、互いに意見を出し合い、学び合う中で、地域も成熟化していくとともに、子ども達も放課後や土曜日等の教育活動を通じて地域で学ぶなど、双方向の関係づくりが期待される。



宇美町小中学校のCSの取組



今号は宇美中学校区CSフォーラムの取組を紹介します。

宇美中学校区CSフォーラム

熟議のテーマは！
「宇美町の魅力と10年後に住みたい宇美町」

6月13日(土) 9時45分より宇美中学校で、中学校区によるCSフォーラムが開催されました。地域の方々と地域について語り合い、郷土宇美町を愛する心を育むことが目的です。

熟議を行うグループは、宇美中学校生徒と宇美小学校児童及び井野小学校児童、PTAの方、各学校の先生で構成され、各区長さんが見守る中、郷土宇美町の魅力と10年後の宇美町について熟議を行いました。それぞれの立場で、意見交流を行い、各グループのまとめを発表しました。そして、宇美中学校の学校運営協議会顧問の濱田芳宏さんより、講評をいただきました。



グループワークで緊張をほぐす



宇美町の魅力を語り合いました！



さまざまな考えに触れました。



参加した方の感想



(小学生の感想)

中学生の人や先生たちと話し合うことができ、未来の宇美町がよくなってほしいと思いました。自分の考えを話せて楽しかったです。

(中学生の感想)

地域の方や小学生と違った年代の人と宇美町の未来を本気で考えることができました。10年後も自慢できる宇美町に僕たちがしていけないと思いました。

(PTAの方の感想)

子どもたちの発想がおもしろく、真剣に地域のことを考えている姿に感動しました。私たち大人が、子どもたちにどんな宇美町を残すべきかを考えさせられました。

宇美中学校区CSフォーラム

CSフォーラムのまとめに、宇美中学校運営協議会顧問の濱田さんより、次のような講評をいただきました。



運営協議会顧問の濱田さんの講評

年齢が違うチームで、それぞれの考え方を自由に発信し、宇美町の未来を熟議する姿こそがCSフォーラムのよさです。正解のない答えを導き出し、地域と学校がチームとなって考えていくことが今後も重要だと思います。

わたしたちの「3つの輪」

～各学校区の実践紹介～

今号は、宇美小学校の取組「宇美小サミット」と宇美南中学校区地域情報交流集会を紹介します。

宇美小学校

宇美小サミットで「宇美町」の誇りについて報告！

宇美小サミットでは、『宇美小の柱になろう』をテーマに「宇美八幡宮」、「光正寺古墳」、「宇美駅」、「あいさつ」の4つについて調べたことを発表し、地域の方に発信しました。

【宇美八幡宮グループの発表】

天然記念物になっており、二千年もの間守られてきている楠、江戸時代から続いている子安石など宇美八幡宮には誇れるものが沢山あります。しかし、老朽化が激しくなっており、早急な取組が必要です。みんなできれいにしたりして、守り続けたいです。



【高場副町長からのコメント】

みんなの取組を人との出会いの懸け橋にしてほしいです。また町の取り組みで、一緒にできることを一緒にしていきましょう。そして、ふるさと宇美を愛する人になってほしいです。もっと良さを探っていってほしいです。



宇美南中学校区

子どもを守る！～地域情報交流会～

原田小学校・宇美南中学校では、各行政区の方が宇美南中学校に集まり、「きけん」から子ども達を守るための意見交流会が行われました。また、後半の全体会では、不審者対応や危険箇所についての学習会が行われました。



行政区別分科会では

- 坂道が多いのでボール・自転車遊びが危険である。
 - 空き家がジャングルようになっており、放置されているので子どもが入ってしまうと大変危険である。
- など危険箇所の情報交換を行いました。

全体会では、学校から、小中合同で取り組んでいる家庭学習強調週間の取組状況や中学校体育会で全力で取り組んだ生徒の頑張りなど、学校での子ども様子が紹介されました。また、宇美町役場総務課安全安心係の方からは、防犯についてのお話しを頂きました。

